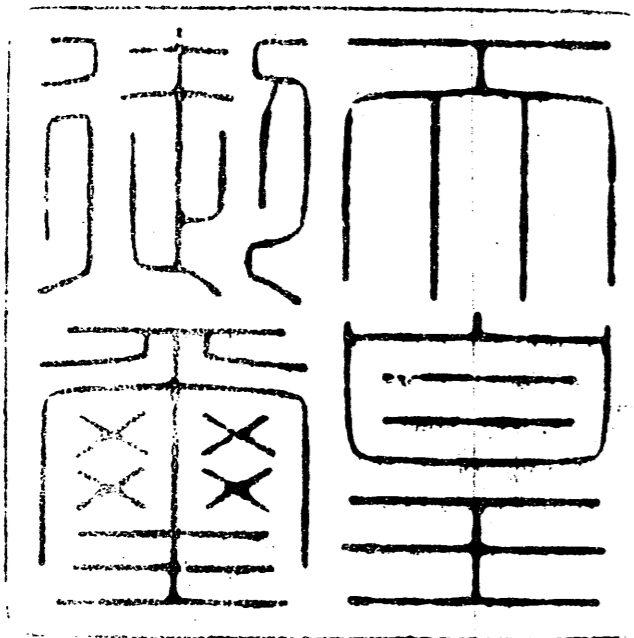


法律第八十八號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル酒税等ノ  
増徴等ニ關スル法律ヲ裁可シ茲ニ  
之ヲ公布セシム

裕仁



月

昭和十六年十一月二十一日

内閣総理大臣兼  
大蔵大臣

東條英機  
賀屋興宣

片

法律第八十八號

第一條 酒税法中左ノ通改正ス

第二十七條 各酒類ニ課スベキ酒税及其ノ税率左ノ如シ

一 清 酒 造石税 一石ニ付 四十五圓

アルコール分二十度ヲ超ユルトキハアル  
コール分二十度ヲ超ユル一度毎ニ五圓五  
十錢ヲ加フ

庫出税 一石ニ付 五十五圓

二 合成清酒 造石税 一石ニ付 四十八圓

アルコール分二十度ヲ超ユルトキハアル  
コール分二十度ヲ超ユル一度毎ニ五圓七  
十錢ヲ加フ

庫出税 一石ニ付 五十五圓

昭和十六年十二月二十一日

片

片

二

三濁酒 造石税 一石ニ付 四十五圓

庫出税 一石ニ付 十五圓

四白酒 造石税 一石ニ付 四十五圓

アルコール分二十度ヲ超ユルトキハアル  
コール分二十度ヲ超ユル一度毎ニ六圓ヲ  
加フ

庫出税 一石ニ付 六十五圓

五味 淋 造石税 一石ニ付 四十五圓

アルコール分二十八度ヲ超ユルトキハア  
ルコール分二十八度ヲ超ユル一度毎ニ四  
圓四十錢ヲ加フ

庫出税 一石ニ付 六十五圓

六焼酎

第一種 アルコール分四十五度ヲ超エザルモノ

甲 連續式蒸餾機ニ依リ製造シタルモノ

造石税 一石ニ付 四十八圓

アルコール分三十度ヲ超ユルトキハアル  
コール分三十度ヲ超ユル一度毎ニ三圓八  
十錢ヲ加フ

庫出税 一石ニ付 五十五圓

乙 其ノ他ノモノ

造石税 一石ニ付 四十五圓

アルコール分三十度ヲ超ユルトキハアル  
コール分三十度ヲ超ユル一度毎ニ三圓七  
十錢ヲ加フ

庫出税 一石ニ付 五十五圓

三

# 昭和十六年十一月二十一日

第二種 アルコール分四十五度ヲ超ユルモノ

造石税 一石ニ付

二百十五圓ニアルコール分四十五度ヲ超  
ユル一度毎ニ六圓ヲ加ヘタル金額

庫出税 一石ニ付 五十五圓

七 麥 酒 庫出税 一石ニ付 八十七圓八十錢

八 果 實 酒 庫出税 一石ニ付 五十圓

九 雜 酒 造石税 一石ニ付 五十圓

アルコール分二十度ヲ超ユルトキハアル  
コール分二十度ヲ超ユル一度毎ニ六圓ヲ  
加フ

庫出税 一石ニ付 七十圓

四

第二十七條ノ二 命令ヲ以テ定ムル清酒、味淋、果實酒及雜酒ノ酒類庫出税ニ付テハ命令ヲ

以テ定ムル價格ニ左ノ割合ヲ乘ジテ算出シタル金額ヲ前條ノ規定ニ依ル酒類庫出税額ニ

加算ス

一 清酒、味淋及果實酒 百分ノ二十

二 雜 酒 百分ノ三十

第三十五條第一項及第二項中「濁酒ヲ除ク」ヲ削リ同條第一項及第三項中「石數」ノ下

ニ「第二十七條ノ二ノ規定ニ依リ命令ヲ以テ定ムル酒類ニ付テハ數量及價格」ヲ加

フ

第五十一條第二項及第六十四條第三項中「酒類造石税」ノ下ニ「及酒類庫出税」ヲ加フ

第六十八條第二項中「第二十七條ノ税率ニ依リ」ヲ「第二十七條及第二十七條ノ二ノ規定ニ

依リ」ニ改ム

五

# 昭和十六年十一月二十一日

六

第八十三條第一項第二號中「二十圓」ヲ「四十圓」ニ改ム

第八十四條第一項中「二圓十錢」ヲ「三圓二十錢」ニ、「百一圓」ヲ「百六十一圓」ニ、「二圓八十錢」ヲ「四圓八十錢」ニ改ム

第二條 清涼飲料税法中左ノ通改正ス

第二條中「八圓五十錢」ヲ「十二圓」ニ、「二十圓」ヲ「三十圓」ニ、「六圓」ヲ「十一圓」ニ改ム

第三條 砂糖消費税法中左ノ通改正ス

第二條中「糖水」ノ下ニ「甘蔗又ハ甜菜ヲ原料トシテ製造シタル糖汁ヲ含ム」ヲ加フ

第三條 消費税ノ税率左ノ如シ

## 一 砂 糖

第一種 分蜜セサル砂糖

甲 樽入黒糖及樽入白下糖但シ黒糖及白下糖以外ノ砂糖ニ加工シテ製造シタルモノ

並ニ全部又ハ一部ノ新式機械ニ依リ製造シタルモノヲ除ク

百斤ニ付 五 圓

乙 其ノ他ノモノ 百斤ニ付 七圓三十錢

第二種 其ノ他ノ砂糖但シ氷砂糖、角砂糖、棒砂糖其ノ他類似ノモノヲ除ク

甲 蔗糖ノ重量全重量ノ百分ノ八十六ヲ超エサルモノ

百斤ニ付 八 圓

乙 其ノ他ノモノ 百斤ニ付 十二圓

第三種 氷砂糖、角砂糖、棒砂糖其ノ他類似ノモノ

甲 氷 砂糖 百斤ニ付 十五圓

消費税ヲ課セラレタル第二種乙ノ砂糖ヲ以テ製造シタルモノニ在リテハ百斤ニ付 二圓

七

昭和十六年十一月二十一日

八

乙 其ノ他ノモノ

百斤ニ付 十六圓

消費税ヲ課セラレタル第二種乙ノ砂糖ヲ以テ製造シタルモノニ在リテハ百斤ニ付 四圓

二糖 蜜

第一種 水砂糖ヲ製造スルトキニ生スル糖蜜

百斤ニ付 八圓

第二種 其ノ他ノ糖蜜

百斤ニ付 四圓五十錢

三糖 水

百斤ニ付 十圓

第四條 物品税法中左ノ通改正ス

第一條第一項第一種第十四號中「トランク」ノ下ニ「類竝ニ行李」ヲ、同種第十八號中「玩具」

ノ下ニ「遊戲具、搖籃及乳母車類」ヲ加ヘ同種第十五號中「靴及」ヲ削ル

同種ニ左ノ如ク加フ

三十二 庭木竝ニ庭園用ノ石材及石工品

三十三 籠、釣燈籠及提灯類

三十四 鐵瓶竝ニ茶道及香道用具

三十五 扇子及團扇

三十六 花輪及花束類

三十七 釣用具類

丙類

三十八 靴

三十九 事務用器具

同項第二種第十七號中「受信用真空管」ノ下ニ「マイクロホン」ヲ、同種第二十三號中「紅茶」

九

昭和十六年十一月二十二日

ノ下ニ「烏龍茶、包種茶」ヲ加フ

同種ニ左ノ如ク加フ

二十五 煙火類

二十六 薰物及線香類

二十七 大理石及之ヲ原料トスル擬石竝ニ陶磁器製タイル

丙類

二十八 電球類

二十九 携行用ノ電燈、同ケース及電池

三十 魔法瓶、水筒類及同部分品

三十一 計算機

三十二 タイプライター、同部分品及附屬品

三十三 輪轉謄寫機及同附屬品

三十四 金錢登録機

三十五 タイムスタンプ及同附屬品

三十六 ミシン及ミシン用針

三十七 板硝子

三十八 紙及セロファン

三十九 齒磨

四十 綠茶

四十一 調味料

同項第三種ニ左ノ一號ヲ加フ

三 サッカリン

昭和十六年十一月二十一日

三

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

同一物品ニシテ第一種及第二種ニ該當スルモノハ之ヲ第二種トシ甲類及乙類若ハ甲類及丙類又ハ甲類、乙類及丙類ニ該當スルモノハ之ヲ甲類トシ乙類及丙類ニ該當スルモノハ之ヲ乙類トス

第二條 物品税ノ税率左ノ如シ

第一種

甲類

物品ノ價格百分ノ五十

乙類

物品ノ價格百分ノ二十

第五條ノ規定ニ依ル場合ニ在リテハ百分ノ三十

丙類

物品ノ價格百分ノ十

第二種

甲類

物品ノ價格百分ノ五十

乙類

物品ノ價格百分ノ二十

丙類

物品ノ價格百分ノ十

第三種

一 燐寸

千本ニ付

五錢

二 飴、葡萄糖及麥芽糖

イ 麥芽糖化ノ方法ニ依リ製造シタル飴

百斤ニ付 二圓五十錢

ロ 其ノ他ノ飴並ニ葡萄糖及麥芽糖

百斤ニ付 三圓

三 サッカリン

一疋ニ付

十圓

三



# 昭和十六年十一月二十一日

一四

第五條 第一種第十六號ニ掲グル物品ガ入札其ノ他競争ノ方法ニ依リ賣買セラルル場合

(強制競賣又ハ之ニ準ズベキ場合ヲ除ク)ハ其ノ札元又ハ之ニ準ズベキ者ガ小賣業者トシテ當該物品ヲ販賣スルモノト看做ス

第六條中「又ハ嗜好飲料」ヲ「嗜好飲料、薰物類、線香類、齒磨又ハ調味料」ニ改ム

第五條 遊興飲食税法中左ノ通改正ス

第一條中「及飲食」ヲ「飲食及宿泊」ニ改メ同條ニ左ノ一項ヲ加フ

前項ノ場所以外ノ場所ニ於テ飲食スル場合ニ於テ其ノ飲食物ガ料理店又ハ旅館ヨリ供給ヲ受クルモノナルトキハ其ノ飲食ハ之ヲ料理店又ハ旅館ニ於ケル飲食ト看做ス

第二條 遊興飲食税ノ税率左ノ如シ

一 藝妓ノ花代

料金ノ百分ノ百

二 藝妓ノ花代ニ類スル料金ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノ(以下其ノ他ノ花代ト稱ス)

料金ノ百分ノ五十

三 藝妓ノ花代又ハ其ノ他ノ花代ヲ伴フ遊興飲食ノ料金但シ藝妓ノ花代及其ノ他ノ花代ヲ除ク

料金ノ百分ノ三十

四 命令ヲ以テ定ムル料理店ニ於ケル遊興飲食ノ料金但シ藝妓ノ花代及其ノ他ノ花代ヲ除ク

料金ノ百分ノ三十

五 前各號以外ノ遊興飲食ノ料金

イ 一人一回三圓ニ滿タザルモノ

料金ノ百分ノ二十

ロ 一人一回三圓以上ノモノ

料金ノ百分ノ三十

六 旅館ニ於ケル宿泊ノ料金

イ 一人一泊十圓ニ滿タザルモノ

料金ノ百分ノ二十

ロ 一人一泊十圓以上ノモノ

料金ノ百分ノ三十

一五

月

前項ノ遊興飲食又ハ宿泊ノ料金ハ前條ニ規定スル場所ノ經營者ガ遊興、飲食又ハ宿泊ヲ爲シタル者ヨリ其ノ遊興、飲食又ハ宿泊ニ付領收スベキ金額ヲ謂フ

遊興飲食又ハ宿泊ノ料金ノ算定ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 遊興飲食ノ料金ガ一人一回一圓五十錢ニ滿タザル場合及旅館ニ於ケル宿泊ノ料金

ガ一人一泊五圓ニ滿タザル場合ニハ遊興飲食稅ヲ課セズ但シ左ニ掲グル遊興飲食ノ料金

ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一 藝妓ノ花代

二 其ノ他ノ花代

三 藝妓ノ花代又ハ其ノ他ノ花代ヲ伴フ遊興飲食ノ料金

四 命令ヲ以テ定ムル料理店ニ於ケル遊興飲食ノ料金

第三條ノ二 前二條ノ一人一回ノ遊興飲食ノ料金及一人一泊ノ宿泊ノ料金ノ計算ニ關シ必

要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條及第七條中「遊興飲食料金」ヲ「遊興飲食又ハ宿泊ノ料金」ニ改ム

第六條 通行稅法中左ノ通改正ス

第二條第一項ヲ左ノ如ク改ム

通行稅ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ課ス

乗車船區間四十軒以下ナルトキ

一等 三十錢

二等 十五錢

乗車船區間八十軒以下ナルトキ

一等 五十錢

二等 二十五錢

三等 五錢

乘車船區間百二十斤以下ナルトキ

一等 一圓五十錢

二等 七十五錢

三等 十五錢

乘車船區間百六十斤以下ナルトキ

一等 三圓

二等 一圓五十錢

三等 三十錢

乘車船區間三百斤以下ナルトキ

一等 五圓

片

二等 二圓五十錢  
三等 五十錢

乘車船區間五百斤以下ナルトキ

一等 七圓

二等 三圓五十錢

三等 七十錢

乘車船區間五百斤ヲ超ユルトキ

一等 十圓

二等 五圓

三等 一圓

同條第五項ヲ左ノ如ク改ム

貸切乗車船ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ通行税ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ課ス

- 一等 貸切運賃ノ百分ノ二十
- 二等 貸切運賃ノ百分ノ十五
- 三等 貸切運賃ノ百分ノ十

第三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

急行車船又ハ寢臺車船ニ乗車船ノ契約ヲ爲シタル場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依ルノ外左ノ税率ニ依リ通行税ヲ課ス

- 一等 急行料金又ハ寢臺料金ノ百分ノ三十
- 二等 急行料金又ハ寢臺料金ノ百分ノ二十
- 三等 急行料金又ハ寢臺料金ノ百分ノ十

第四條中「三等乗客」ノ下ニ「及定期乗車船ノ契約ニ依ル三等乗客」ヲ加フ

第八條中「又ハ急行料金」ヲ「急行料金又ハ寢臺料金」ニ改ム

第七條 入場税法中左ノ通改正ス

第三條第一項ヲ左ノ如ク改ム

入場税ノ税率左ノ如シ

第一種ノ場所

- |                         |           |
|-------------------------|-----------|
| 入場料ガ一人一回五十錢未滿ナルトキ       | 入場料ノ百分ノ二十 |
| 入場料ガ一人一回一圓未滿ナルトキ        | 入場料ノ百分ノ三十 |
| 入場料ガ一人一回三圓未滿ナルトキ        | 入場料ノ百分ノ四十 |
| 入場料ガ一人一回五圓未滿ナルトキ        | 入場料ノ百分ノ六十 |
| 入場料ガ一人一回五圓以上ナルトキ        | 入場料ノ百分ノ八十 |
| 回数、定期又ハ貸切ニテ入場ノ契約ヲ爲シタルトキ | 入場料ノ百分ノ四十 |

第二種ノ場所

撞球場、スケート場

入場料ノ百分ノ二十

麻雀場

入場料ノ百分ノ三十

舞踏場、ゴルフ場

入場料ノ百分ノ五十

二三

第十條第一項ヲ左ノ如ク改ム

特別入場税ノ税率左ノ如シ

特別入場料ガ一人一回一圓未満ナルトキ

特別入場料ノ百分ノ二十

特別入場料ガ一人一回一圓以上ナルトキ

特別入場料ノ百分ノ三十

回数、定期又ハ貸切ニテ入場ノ契約ヲ爲シタルトキ

特別入場料ノ百分ノ三十

第八條 建築税法中左ノ通改正ス

第一條ニ左ノ三號ヲ加フ

四 旅館ノ用ニ供スル家屋

五 撞球場、麻雀場其ノ他命令ヲ以テ定ムル遊技場ノ用ニ供スル家屋

六 倶楽部、會館其ノ他名稱ノ何タルヲ問ハズ會員其ノ他命令ヲ以テ定ムル者ノ親陸ヲ

圖リ又ハ其ノ慰安若ハ娛樂ノ用ニ供スル家屋

第四條中「百分ノ十」ヲ「百分ノ二十」ニ改ム

第九條 骨牌税法中左ノ通改正ス

第四條中「五圓」ヲ「十圓」ニ、「七十錢」ヲ「一圓五十錢」ニ改ム

第十條 印紙税法中左ノ通改正ス

第四條第一項第六號中「三錢」ヲ「五錢」ニ、「十錢」ヲ「二十錢」ニ、「三十錢」ヲ「六十錢」ニ、「六十錢」ヲ「一圓二十錢」ニ、「九十錢」ヲ「一圓八十錢」ニ、「一圓五十錢」ヲ「三圓」ニ、「三圓」ヲ「六圓」ニ

二三

改ム

第十一條 地方分與稅法中左ノ通改正ス

第二條第二項及第六條第一項中「百分ノ五十」ヲ「百分ノ十五・一八」ニ改ム

第四十七條ニ左ノ一項ヲ加フ

第二條第二項中百分ノ十五・一八トアルハ昭和十六年度ニ於テハ百分ノ二十九・三五トス

第四十八條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第六條第一項中百分ノ十五・一八トアルハ昭和十七年度分ニ付テハ百分ノ五十、昭和十八年度分ニ付テハ百分ノ二十九・三五トス

附則

第一條 本法ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第六條ノ規定施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 酒類ノ製造者又ハ販賣業者ガ本法施行ノ際製造場又ハ保稅地域以外ノ場所ニ於テ各

種類ヲ通ジ合計五石以上ノ酒類ヲ所持スル場合及其ノ所持スル酒類ガ合計五石ニ滿タザル

モ酒稅法第二十七條ノ二ノ改正規定ニ依リ命令ヲ以テ定ムル酒類ガ合計一石以上ナル場合

ニ於テハ其ノ場所ヲ以テ製造場、其ノ所持者ヲ以テ製造者ト看做シ其ノ所持スル酒類ニ對

シ酒類庫出稅ヲ課ス此ノ場合ニ於テハ本法施行ノ日ニ於テ其ノ酒類ヲ製造場ヨリ移出シタ

ルモノト看做シ濁酒ニ付テハ一石ニ付十五圓ノ割合ニ依リ算出シタル金額、其ノ他ノ酒類

ニ付テハ酒稅法第二十七條ノ改正稅率ニ依リ算出シタル金額ト從前ノ稅率ニ依リ算出シタ

ル金額トノ差額ヲ以テ其ノ稅額トシ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ徵收ス但シ同法第二十七條

ノ二ノ改正規定ニ依リ命令ヲ以テ定ムル酒類ニ付テハ同條ニ規定スル價格ニ同條ニ規定ス

ル割合ヲ乘ジテ算出シタル金額ヲ本文ノ規定ニ依リ算出シタル酒類庫出稅額ニ加算シタル

モノヲ以テ其ノ稅額トス

東京府 小笠原島及伊豆七島ニ於テ製造シタル清酒及燒酎ニ付前項

ノ規定ヲ適用スル場合ニ於テハ一石ニ付二十圓ノ割合ニ依リ算出シタル金額ヲ以テ其ノ税額トス

第一項ノ製造者又ハ販賣業者ハ其ノ所持スル酒類ノ種類毎ニ數量、價格及貯藏ノ場所ヲ本法施行後一月以内ニ政府ニ申告スベシ

第三條 本法施行ノ際製造場ニ現存スル酒類ニシテ戻入又ハ移入シタルモノニ付テハ酒税法第三十八條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ移出シタルトキ酒類庫出税ヲ徴收ス此ノ場合ニ於テハ前條

第一項後段及第二項ニ規定スル税額ヲ以テ其ノ税額トス

第四條 本法施行ノ際製造場以外ノ場所ニ於テ同一人ガ五石以上ノ第二種ノ清涼飲料ヲ所持スル場合ニ於テハ其ノ場所ヲ以テ製造場、其ノ所持者ヲ以テ製造者ト看做シ清涼飲料税ヲ課ス此ノ場合ニ於テハ本法施行ノ日ニ於テ其ノ清涼飲料ヲ製造場外ニ移出シタルモノト看做シ一石ニ付十圓ノ割合ニ依リ算出シタル金額ヲ其ノ税額トシ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ徴收ス

前項ノ清涼飲料ノ所持者ハ其ノ所持スル清涼飲料ノ數量及貯藏ノ場所ヲ本法施行後一月以内ニ政府ニ申告スベシ

第五條 改正前ノ税率ニ依リ消費税ヲ課セラレタル砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ原料トシテ製造シタル砂糖(第三種ノ砂糖ヲ除ク)、糖蜜又ハ糖水ニシテ本法施行後製造場ヨリ引取ラルルモノニ付テハ砂糖消費税法第十二條ノ規定ニ拘ラズ砂糖消費税ヲ徴收ス此ノ場合ニ於テハ同法第三條ノ改正税率ニ依リ算出シタル金額ト從前ノ税率ニ依リ算出シタル金額トノ差額ヲ以テ其ノ税額トス

改正前ノ税率ニ依リ消費税ヲ課セラレタル第二種乙ノ砂糖ヲ以テ製造シタル第三種ノ砂糖ニシテ本法施行後製造場ヨリ引取ラルルモノニ付テハ改正後ノ砂糖消費税法第三條ニ規定スル氷砂糖ノ税率百斤ニ付二圓ハ之ヲ百斤ニ付四圓トシ其ノ他ノモノノ税率百斤ニ付四圓ハ之ヲ百斤ニ付六圓トス

第六條 本法施行ノ際製造場又ハ保稅地域以外ノ場所ニ於テ同一人ガ各種類ヲ通ジ合計一萬斤以上ノ砂糖、糖蜜又ハ糖水ヲ所持スル場合ニ於テハ其ノ者ガ本法施行ノ日ニ於テ之ヲ製造場ヨリ引取リタルモノト看做シ砂糖消費稅ヲ課ス此ノ場合ニ於テハ砂糖消費稅法第三條ノ改正稅率ニ依リ算出シタル金額ト從前ノ稅率ニ依リ算出シタル金額トノ差額(第三種ノ砂糖ニ在リテハ水砂糖ハ百斤ニ付二圓五十錢、其ノ他ノモノハ百斤ニ付三圓五十錢ノ割合ニ依リ算出シタル金額)ヲ以テ其ノ稅額トシ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ徵收ス前項ノ砂糖、糖蜜又ハ糖水ノ所持者ハ其ノ所持スル砂糖、糖蜜又ハ糖水ノ種別、數量及貯藏ノ場所ヲ本法施行後一月以内ニ政府ニ申告スベシ

第七條 本法施行前ヨリ引續キ物品稅法第一條ノ改正規定ニ依リ物品稅ヲ課スルコトト爲リタル第一種ノ物品ノ小賣業ヲ營ム者又ハ同第二種ノ物品若ハサッカリンノ製造ヲ爲ス者本法施行後一月以内ニ其ノ旨ヲ政府ニ申告スルトキハ本法施行ノ日ニ於テ物品稅法第十五條

ノ規定ニ依リ申告シタルモノト看做ス

第八條 改正後ノ物品稅法第一條ニ掲グル第二種ノ物品又ハ飴、葡萄糖、麥芽糖若ハサッカリンノ製造者又ハ販賣者ガ本法施行ノ際製造場又ハ保稅地域以外ノ場所ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル物品ヲ所持スル場合ニ於テハ其ノ場所ヲ以テ製造場、其ノ所持者ヲ以テ製造者ト看做シ之ニ物品稅ヲ課ス此ノ場合ニ於テハ本法施行ノ日ニ於テ其ノ物品ヲ製造場ヨリ移出シタルモノト看做シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ物品稅ヲ徵收ス但シ從前ノ規定ニ依リ物品稅ヲ課セラレタル物品ニ付テハ其ノ課セラレタル稅額ニ相當スル金額ヲ控除シタル金額ヲ以テ其ノ稅額トス

一 改正後ノ物品稅法第一條ニ掲グル第二種ノ物品ニシテ同條各號ニ掲グル品名毎ニ價格一千圓以上ノモノ  
二 飴、葡萄糖又ハ麥芽糖ニシテ合計一萬斤以上ノモノ



三 三十疋以上ノサッカリン

前項ノ製造者又ハ販賣者ハ同項第一號ノ物品ニ付テハ其ノ品名毎ニ數量、價格及貯藏ノ場所、第二號ノ物品又ハサッカリンニ付テハ其ノ品名毎ニ數量及貯藏ノ場所ヲ本法施行後一月以内ニ政府ニ申告スベシ

第九條 改正後ノ建築税法第一條第四號乃至第六號及第四條ノ規定ハ本法施行後竣成スル家屋ノ建築ニ付之ヲ適用ス

本法施行前新築竣成シタル建築税法第一條第一號乃至第三號ニ掲グル家屋ニシテ建築價額一萬圓未満ノモノニ關シ同法第三條第一項ノ規定ニ依リ建築税ヲ課スル場合ニ於テハ前ノ建築價額ヨリ五千圓ヲ控除シタル金額ノ百分ノ十二相當スル金額ヲ其ノ建築税額ヨリ控除ス

本法施行前新築竣成シタル建築税法第一條第一號乃至第三號ニ掲グル家屋ニシテ建築價額

一萬圓以上ノモノニ關シ同法第三條ノ規定ニ依リ建築税ヲ課スル場合ニ於テハ従前ノ規定ニ依リ課セラレタル建築税額ノ二倍ニ相當スル金額ヲ其ノ建築税額ヨリ控除ス

建築税法第三條ノ規定ハ改正後ノ同法第一條第四號乃至第六號ニ掲グル家屋ノ新築ガ本法施行前竣成シタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第十條 本法施行ノ際骨牌ノ製造又ハ販賣ヲ爲ス者ノ所持ニ係ル骨牌ニハ製造又ハ販賣ヲ爲ス者ニ於テ骨牌税法第四條ノ改正規定ニ依ル税額ト従前ノ規定ニ依ル税額トノ差額ニ相當スル印紙ヲ増貼スベシ

酒税等ノ増徴等ニ關スル法律案理由書

購買力ノ吸收及消費ノ抑制ヲ圖ルト共ニ此ノ際増加セントスル歳出ノ財源ノ一部ニ充當スル爲差  
當リ間接税ヲ中心トスル臨時増税ヲ行フ等ノ爲酒税等ノ増徴等ニ關スル法律ヲ制定スルノ要アリ  
是レ本案ヲ提出スル所以ナリ